

寄付者のご芳名

当協会にご寄付いただいた方々のご芳名を掲載させていただきます。

(匿名希望を除く。50音順、2025年5月末現在)

この紙面をかりて厚くお礼申し上げます。

岡本 恒男 様

一般社団法人生産技術振興協会

編集委員のページ



小笠原 理恵

大阪大学大学院医学系研究科 国際未来医療学講座 特任講師
大阪大学医学部附属病院 国際医療センター 副センター長

ルールよりも先にマナー ～5月の「折々のことば」から～

朝日新聞朝刊1面の「折々のことば」は、哲学者鷲田清一が執筆するコラムです。2025年5月16日付の「折々のことば」が、ずっと私の心に響いています。

ルールについて、日本人は大きな間違いをしてると思いますね。本来、ルールよりも先にマナーがあるものなんです。(藤本義一)

戦争では掟(ルール)に従わない者が迫害され、負けた途端にそのルールも人格も一変してきたのを目の当たりにした経験から、「何かといえばルールというのに不信感がある」という、小説家・放送作家であった藤本義一のことばです。これに対して鷲田は、「議論においても、相手の発言に耳を傾ける…対話の土俵を死守するという態度が先にあるはず」と説いています。

その前日の5月15日付けのコラムには、在日コリアンのミュージシャン趙博のことばが紹介されていました。「非人権的」な社会の体制では逃げ場がないこと、そして、『人権問題』は、差別をなくそうという申し合わせではなく、『国の成り立ちや原則が、人権に沿っているか』の問題』だと綴られていました。

いかなるルールもUniversal(絶対)ではないこと、常に他者との対話を重ね見直す姿勢を持ち続けなければならないこと、そして日本は今も昔もそれが不得手なこと(自戒の念を込めて)。朝からそんなことを考えさせられた5月でした。